



平和学習特集号 平和の想いを次世代へ

戦後、80年の節目の年です。今年は町内在住の体験者4人からお話しを聞く機会をいただきました。また、平和について発信し活動している方々や、専門的な知識をもつ学芸員のお力添えもあり、大変充実した学習になりました。

南風原小学校 4学年

6月12日

「一般疎開講話」

赤嶺松栄さん



「家族も友だちも大切に話し合いをもって解決を」

北丘小学校 1学年

6月19日

「たいけんしゃのおはなし」

大城スミ子さん



「好き嫌いしないで何でも食べてね」

津嘉山小学校 5学年

6月13日

「学童疎開講話」

金城シズ子さん



「勉強も遊びも頑張ってください」

翔南小学校 5学年

6月17日

「体験者講話」

大城敏雄さん



「先輩方の教えを心に留めて頑張ってください」

南風原平和ガイドの会

津嘉山小と翔南小の児童に20号壕や陸軍病院についてのお話しと、戦争に関する絵本の読み聞かせをしました。「戦争の時どうやって火をつけたの?」など回答の難しい質問があり「教えるつもりで来たけど私達も勉強になりました」と講師から感想がありました。



安座間喜順さん



大城逸子さん



金城美根子さん



宮川光世さん



斉藤光枝さん

南風原文化センター



玉城学芸員



保久盛学芸員



前城学芸員

「津嘉山が語る沖縄戦」の講話や、戦争遺物を持参し、20号壕や戦時中の各地域の様子を話しました。「お父さんに赤紙がきても絶対に行かないでほしい」と児童感想があり、授業後にも質問の列ができるほど、関心を示していました。

「戦争は最大の不幸」



新聞記事や沖縄方言も示し慰霊の日や「命どう宝」を伝える皆さん



平和朗読 首里

沖縄戦で残された証言集や絵本の朗読をとおして、戦争の実相を伝えているサークル。

時系列で進行していく沖縄戦の中で巻き込まれる住民たちの証言集。集団自決で生き残った方の証言を聞いた3年生は、「ギリギリの精神状態の中、自分だったらどうしていたのだろう」と話し、2年生は、「沖縄ではまだ見つからない骨がたくさんある。私達はその上で生活していることを忘れない」と話しました。

翔南小学校 4学年 6月16日 南風原の学童疎開と 対馬丸事件について



対馬丸記念館 (右より) 学芸員 嶋袋寿純さん 館長 平良次子さん

平良さんは南風原の学童疎開について、嶋袋さんからは対馬丸事件について話しを聞きました。当時の様子を知ることで、命の尊さ、平和の大切さを考える機会になりました。



～編集後記～

戦後80年という節目の年を迎え改めて、平和の大切さを感じます。繋いでくれた命のバトンを先人の想いと共に次世代へ渡していけることに、心から感謝いたします。 コーディネーター：濱田香



☆お気軽にアクセスください

カキ氷食べよう！（津嘉山） 放課後子ども教室 スライム作り！（南風原）



地域の子どもをみんなと一緒に育てましょう！
できる人が・できることを・できるときに



学校ボランティア募集中